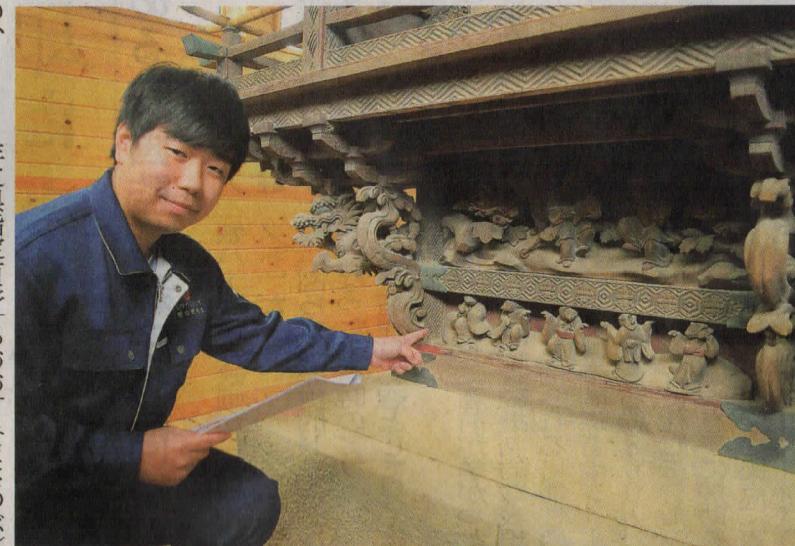


熊谷の諏訪神社 日光東照宮の影響か

熊谷市上新田の諏訪神社本殿（県指定有形文化財）について、日光東照宮陽明門の「逆さ柱」と類似する建築手法で施工されていたことが、ものつくり大学大学院2年生で横山研究室の星辰之介さん（24）の調査で明らかになった。星さんは「あえて未完成の状態にすることで、災いを避ける狙いがあった」と語った。（桜井和憲）



日光東照宮陽明門の「逆さ柱」と類似する部分を発見した
星辰之介さん—熊谷市上新田の諏訪神社

(延享3)年に柴田信右衛門
豊忠が施主となつて創建した
もので、大工棟梁（とうりょう）
の内田清八郎や彫り物大
工棟梁の石原寅八郎らが妻沼
聖天山の国宝「歡喜院聖天堂」
の工事中断の期間中に手がけ
た。本殿全体が精巧で緻密な
彫刻によつて装飾されてお
文化財となり、その後は保存
修理工事も行われた。
日光東照宮の逆さ柱は「建
物は完成と同時に崩壊が始ま
る」という伝承を逆手にとり
わざと柱を未完成の状態にす
ることで魔除けの意味があ
る。日光東照宮の工事に携わ
つた平内大隅政信（へいのう

おねまきのふの姫男
応勝（まさかつ）の次男が林
家へ養子に入り、歡喜院聖天
堂の大工棟梁の林兵庫正清と
なる。林兵庫正清の門弟であ
る内田清八郎は歡喜院聖天堂
の造営に携わっている。

本は入子菱繋（いり）びしつなぎ）文、紗綾（さや）形文、を順に組み合わせているが、北西柱だけは紗綾形文、入子菱繋文の逆の順番だった。逆さ柱を意識したもので、建物の状況からも大工棟梁が意図的に行つたことが判明した。

本殿は十二支の彫刻も備わっていたが、蛇の彫刻だけがなく、主祭神が蛇神であることや、申（さる）が本来配置されるべき場所とは逆側の戌（いぬ）とは対角側にあり、犬猿の中の関係を踏まえて切り離した配置についていたことも分かった。星さんは「2年間の研究の成果」と話した。

本殿は5月18日に一般公開を予定する。

逆さ柱「類似の建築手法

ものつくり大院生が発見

2025年(令和7年) 2月20日 木曜日

きょうは何の日

旅券の日、アレルギーの日



 埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市
北区吉野町2-282-3
本社代表 048・795・9930

ニーズの多様化をソリューションする ぶぎん 総合リース 武蔵野銀行グループ

さいたま市大宮区桜木町1-10-8 武蔵野銀行本店ビル7階
TEL 048-642-1231

11 「逆さ柱」類似の建築

熊谷市の諏訪神社本殿が、日光東照宮陽明門の「逆さ柱」と類似する建築手法で施工されていたことが、ものつくり大学の大学院生の調査で明らかになった。

